

# 民話学校 in 沖縄2012

日本民話の会は、名護博物館と共に「民話学校 in 沖縄2012」を開催いたします。全国から参加の日本民話の会会員と、沖縄の皆様と共に、民話を語り継ぐということを考え、また民話の語りを楽しむ会にしたいと思っております。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

期 日 2012年3月11日(日)  
 会 場 名護市羽地地区センター  
 参加費 1000円(資料代・弁当代) ※当日受付でお支払い下さい。  
 申し込み 下記の「申込書」に記入の上、平成24年2月29日までに、  
 NPO 法人沖縄伝承話資料センターへFAXして下さい。  
 問合せ先 NPO 法人沖縄伝承話資料センター (TEL: 098-890-2455)

日 程  
 9:00 受 付  
 9:30 開会式 「沖縄へようこそ」校長 照屋寛信  
 9:40 民話学校 講演  
 ①「開催にあたって」米屋陽一  
 ②「3月11日、あれから～『語り』『聴く』ということ～」小野和子  
 ③「お話で遊ぶ」藤田浩子  
 12:00 一 昼 食  
 13:30 ウチナーとヤマトの新しい語り  
 ・沖縄の語り手(むねがたいの会・やんばる民話の会)  
 ・ヤマトの語り手  
 (望月新三郎・荒石かつえ・矢部敦子・大平悦子 他)  
 15:00 分科会(1時間目) ①・②・③・⑤  
 16:00 休憩・移動  
 16:15 分科会(2時間目) ①・②・④・⑥  
 17:15 閉校式

分 科 会  
 ①「誰でも語り手」 立石憲利 ※2コマ通し  
 ②「語りのための再話教室」 小澤清子 ※2コマ通し  
 ③「語りの広がりー絵本語り、紙芝居、回転ペーパーサート」  
 望月新三郎、荒石かつえ  
 ④「あかずきんの絵本・再話・読み聞かせ」 樋口淳  
 ⑤「沖縄の伝承の語りと新しい語り」 比嘉久  
 ⑥「沖縄の民具を作ろう」 照屋寛信

申込書 FAX 098-890-2455 NPO 法人沖縄伝承話資料センター 行

氏 名:	住 所:
	TEL:
参加希望(希望の部分をすべて○で囲んでください)	
I 講演会	
II ウチナーとヤマトの新しい語り	
III 分科会/第1希望( ) 第2希望( ) ←分科会番号を記す。	
IV 弁 当	

## 講師紹介

米屋陽一（よねや・よういち）日本民話の会会長。1970年代はじめに、吉沢和夫、松谷みよ子、大島広志などととも、日本民話の会の前身である民話の研究会を創設、今日まで一貫して民話運動にかかわり、民話の記録・研究・出版活動につとめてきた。國學院大學講師。

小野 和子（おの・かずこ）みやぎ民話の会顧問・日本民話の会運営委員。1970年から宮城県を中心に東北地方の民話採訪活動、民話集編纂に従事する。傍ら、児童文学作品、翻訳児童書などを執筆。今回の東日本大震災にあたって、2011年夏に「東日本大震災と語り」をテーマとして宮城民話の会・民話の学校の緊急開催を提起し、多くの語り手と参加者を集め、その記録活動を続けている。

藤田 浩子（ふじた・ひろこ）日本民話の会会員。1937年東京生まれ。戦時中、福島県三春に疎開。隣の畑のおじさんから語りとして昔話を聞いて育つ。福島県、東京西小岩幼稚園などで幼児教育にたずさわって50年、幼児教育者としてまた語り手として、全国各地の幼稚園、保育園、小学校、図書館、公民館、市民ホールなどを巡って多彩で活発な公演活動を現在もつづけている。

立石 憲利（たていし・のりとし）岡山民俗学名誉理事長、日本民話の会運営委員、岡山県語りのネットワーク会長、NPO法人語り手たちの会理事など。遠藤庄治、小野和子、佐々木達司などととも、現代日本を代表する民話の記録・研究者であり、すぐれた語り手でもある。

小澤 清子（おざわ・きよこ）日本民話の会運営委員、日本児童文学者協会会員、高崎民話を語る会会員。1960年代から、人形劇団「やまいも」と「太郎座」で人形劇を、演劇集団「鷹の会」で演劇に携わり、民話への関心を深める。1990年代から、高崎で仲間とともに語りの会を立ち上げ、民話の語りをはじめた。

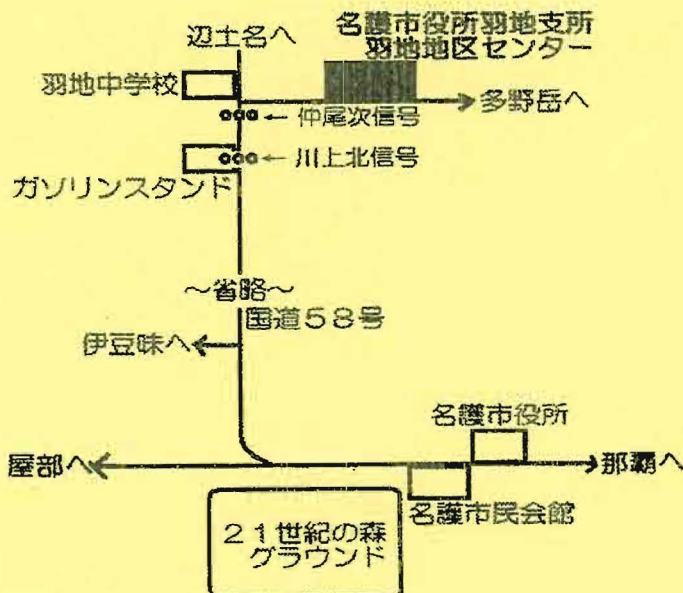
望月 新三郎（もちづき・しんざぶろう）日本民話の会運営委員（「通信」編集長）、語りの会会員、全日本語りネットワーク会員。神奈川県川崎市に生まれる。1945年3月15日の川崎大空襲に遭い東京芝三田に移転、再び空襲を受ける。1980年代から、児童書を執筆するかたわら、著書の読み聞かせや語りを行う。

荒石 かつえ（あらいし・かつえ）日本民話の会運営委員。北海道釧路市生まれ、現在千葉県船橋市在住。民話の語りと記録にたずさわり、「船橋の民話をきく会」の仲間と、地元の人から聞いた話を、語ったままに記録した「ふなばしむかしむかし」を発行し、11号になる。

樋口 淳（ひぐち・あつし）日本民話の会運営委員、NPO法人沖縄伝承話資料センター理事。1980年代から、民話の採訪と記録にたずさわり、沖縄、新潟、福島など各地で民話の記録にたずさわる。日本民話データベース作成委員会、沖縄伝承話データベース作成委員会を通じ、民話の記録保存につとめている。専修大学文学部教授。

比嘉 久（ひが・ひさし）日本民話の会会員、NPO法人沖縄伝承話資料センター副理事長。沖縄国際大学在学中より故遠藤庄治名誉教授と共に沖縄各地を民話調査。沖縄伝承話の記録保存につとめている。名護市役所職員。

照屋 寛信（てるや・かんしん）日本民話の会会員、NPO法人沖縄伝承話資料センター理事長。沖縄国際大学在学中に、同大、口承文芸研究会設立に加わり、沖縄各地を民話調査。故遠藤庄治名誉教授の意志を受け継ぎNPO法人沖縄伝承話資料センター理事長となる。日本レクリエーション協会コーディネーター。



※ 路線バスご利用の場合  
名護バスターミナルより、  
系統番号 67・72・73 番のバスに乗車。  
羽地中学校前バス停下車。